

認知症介護の教え方を学ぶ研修です

認知症介護指導者

養成研修のご案内

2001年から始まり
現在、
認知症介護指導者として
全国で
2,880名の方が
修了しています

厚生労働省が定める公的研修です

「認知症介護研究・研修センター」宮城県(仙台市)、東京都(杉並区)、愛知県(大府市)の三か所にて実施しています。

SENDAI 仙台



担当地域：北海道・東北・中国・四国

TOKYO 東京



担当地域：関東・新潟・九州・沖縄

OBU 大府



担当地域：北陸・甲信・東海・近畿

研修で 得られること

研修には様々な地域の方、
職種の方が参加しています。
そこでの『出会い』により『気づく力』を
磨くことができるのも本研修の
魅力の一つです！



教育

認知症ケアにおける様々な
教育技法の特徴を理解・活用し
課題解決力を高める



育成

認知症ケアにおける効果的な
人材育成のための組織体制づくり



表現

プレゼンテーション能力
伝え方、準備の仕方



講師

講義の組み立て方、
講師としての態度・姿勢を体得



地域

共生社会づくりのための
連携体制の構築



研究

学術的な課題設定、データ収集、
分析及び評価の方法

研修日程

研修期間 9週間(センターでの集合研修は、15日間です)



前期研修
10日間
(集合)

職場実習
6週間

後期研修
5日間
(集合)

認知症介護
指導者

詳しくは裏面をご覧ください

※修了考査あり

認知症介護指導者養成研修とは？

認知症指導者養成研修は、認知症介護に関する専門的知識・技術や研修プログラム作成方法・教育技術、介護の質の改善のための指導方法を修得します。



受講対象者	以下、全ての要件を満たした者 ・医療・福祉に係る国家資格を有する者(または準ずる者)、認知症介護実践者研修及び認知症介護実践リーダー研修を修了した者(または同等者)、認知症介護実践研修等の企画・立案、講師、地域ケアの推進を担う見込みの者
受講申し込み	・申し込みの際には、受講申込書・推薦書・選考考査のための実践事例報告などの書類を提出していただきます。 ※募集時期や方法については、各都道府県・指定都市の担当部署又は下記へお問い合わせください。

認知症介護指導者が所属する事業所にはその配置を要件の一部とした『認知症加算』『認知症専門ケア加算I・II』が算定されます

担当地域

- 仙台センター
北海道・東北・中国・四国
- 大府センター
北陸・甲信・東海・近畿
- 東京センター
関東・新潟・九州・沖縄

研修を受けることでさまざまな変化が期待できます

自身の変化

- ・ケアの改善に向けて、経験則だけに頼らず、客観的な現状分析やケア内容の評価を行えるようになった。
- ・自ら考え行動する人材育成のために、職員の自発性を引き出すコミュニケーションを意識するようになった。

施設・事業所の変化

- ・職員の間で、どのような課題も背景を広く深く考えてから、課題解決の方法を探る場面が増えた。
- ・事業所内の様々な場面で、認知症の人への支持的・受容的な態度を重視した支援が見られるようになった。

令和2年度老人保健健康増進等事業「認知症介護指導者養成研修等のアウトカム評価に関する調査研究事業」より一部抜粋

修了した認知症介護指導者はこんな活動をしています

研修会等の活動	自法人内での役割	当事者や地域住民向けの相談・啓発活動等
認知症介護実践者等養成事業への関与 96.6%	介護保険施設・事業所の介護の質改善に向けた指導的役割 95.0%	地域における認知症施策の推進への貢献 90.5%
・実践者、実践リーダー研修の企画会議への出席、講師、ファシリテーター	・初任者・新任者・中堅職員へのOJTの計画、実施 ・職場内研修の企画、立案 ・他介護保険施設・事業所からの依頼による研修 ・介護保険施設・事業所からの認知症ケアに関する相談対応	・地域住民を対象とした認知症サポーター養成研修の講師 ・地域住民向け講演会の講師 ・家族介護者や地域住民からの相談対応 ・認知症関連イベントの企画・参加

指導者834名からの回答結果
認知症介護指導者養成研修に対するアウトカム評価を目的とした指導者活動実態調査より(令和5年度認知症介護研究・研修大府センター運営費研究事業)

詳しくは…

認知症介護研究・研修センター(仙台・東京・大府)
<https://www.dcnet.gr.jp/>

DCnet

検索

